

(参考)

輸入とうもろこし中のスターリンク混入検査実施の経緯

- 1 米国において飼料用としての安全性は確認されているが、食品としての安全性が未確認となっている遺伝子組換え体とうもろこしであるスターリンクについて、我が国において食品から検出されたとの指摘が平成12年にあった。
我が国はスターリンクについて食品及び飼料としての安全性評価を行っていなかった。
- 2 このため、
 - (1)平成12年4月輸入分から、農林水産省肥飼料検査所(平成13年4月に独立行政法人化)において飼料用とうもろこし中のスターリンク混入について検査を開始するとともに、
 - (2)平成12年12月に、日本に輸出される飼料用とうもろこしへのスターリンク混入を防止するため、米国において輸出前検査を実施することについて日米間で合意、さらに、
 - (3)昨年4月1日に、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林水産省令第35号。以下「成分規格等省令」という。)を改正し、組換え体利用飼料について農林水産大臣による安全性の確認を義務付けた。成分規格等省令においては、我が国と同等又はそれ以上の水準の安全性に関する審査の制度を有する外国政府の審査により安全性が確認されているものについては1%以下の混入を認めている。
- 3 なお、スターリンクについて、現在までのところ、成分規格等省令に基づく安全性の確認の申請はなされていない。
- 4 また、スターリンクの家畜への給与試験の結果、家畜の健康状態、畜産物の生産性に異常は認められず、組換え遺伝子及びそれによって生じるたん白質である Cry9C が畜産物中に移行しないこと等について確認されている(平成13年公表済み)。

畜種	試験設定	健康状態	畜産物(乳、肉、卵)の生産性	畜産物中のCry9Cたん白質	公表時期
ブロイラー	128羽 7週間給与	異常なし	異常なし	検出せず	13年2月2日
採卵鶏	100羽 6週間給与	異常なし	異常なし	検出せず	13年4月6日
乳牛	4頭 5週間給与	異常なし	異常なし	検出せず	13年4月6日
肉豚	20頭 14週間給与	異常なし	異常なし	検出せず	13年7月19日

注1) 試験はいずれも社団法人日本科学飼料協会において実施

2) 試験設定欄の頭羽数については試験(スターリンク給与)区のものであり、これとは別に同数の頭羽数の対照(スターリンク無給与)区が設けられている。